



絵本「地雷でなく花をください」 を使用した道徳の授業

報告者 東京都練馬区立旭丘小学校 三浦 寛朗先生

1. 活動のポイント

情報化が進み、世界で活躍するスポーツ選手や音楽家の様子など夢や希望にあふれる情報が伝えられる一方で、戦争や紛争、拉致問題など民族間の深刻な状況も伝えられる。科学技術のめざましい進歩によって世界の時間的な距離は縮まったが、平和な世界を考えると課題はまだまだ多い。

本学級の児童も、世界で起きている厳しい状況を知識として持っている児童は増えているが、身近な自分の問題として受け止めている児童は多くない。

そこで、今回の道徳授業では、絵本「地雷ではなく、花をください」（自由国民社）とユニセフにある地雷模型を資料として使うことで、狭いものの見方や考え方ではなく、世界に目を向けるとともに、世界をよりよくするために、世界の人々と積極的に関わっていこうとする心情をはぐくみたいと考えた。また、授業にあたっては、「とっておきの道徳授業」（日本標準）を参考にした。

2. 実 践

- (1) 主題名 戦争のない世界 4-(8) 国際理解と親善
(2) ねらい 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重していこうとする心情を育てる。
(3) 資料「地雷ではなく花をください」について

本資料は、柳瀬房子さんが、地雷撤去キャンペーン絵本として書かれた「地雷ではなく花をください」（自由国民社）という作品である。



地雷のレプリカ

絵本の冒頭では、「果てしなく広がる宇宙で、一番美しい星、それは、私たちの地球。」であることをとらえている。そして、サニーちゃんの生まれた日本は海でかこまれた島国であるが、大陸では、国境線がひかれ、勝手に越えることはできないことが語られている。そこに、何かが爆発した。爆発したのは地雷である。次に、地雷で被害にあった人たちが、松葉杖でからだを支えたり、車いすにのっていたりする場面が描かれ、地雷の脅威が語られている。世界中で1億1000万個がそのままになっている。そのため1時間に3人がどこかで亡くなったり、大けがをしたりしている。また、埋められた地雷はどこに埋まっているかわからなくなっているので、簡単に見つけることができない現状にある。見つけだして取り除くには、多くの人々の力とたくさんのお金がかかる大変な作業であり、気の遠くなるような作業もある。そして絵本では、「ひとつ取り除いたら花の種、ひとつ取りのぞいたら木を一本植えましょう」と呼びかけ、人々の協力や根気強い継続を訴え、最後には、山も野原も花いっぱいになり、きれいな地球がもどってきた光景が描かれている。

(4) 展開の大要

	学 習 活 動	指導上の留意点
導入	1、戦争が終わった後の世界について考える。	・現在の日本の様子を考えさせ、本時の方向付けをする。
展開	2、「地雷ではなく花をください」のP. 2~14を聞く。 ○何が爆発したのでしょうか。 3、「地雷ではなく花をください」のP. 15~19を聞く	・地雷のレプリカを用意し、説明する。 (大きさ・目的・種類など)

展開	○今、世界に何個ぐらいの地雷が埋まったままになっていると思いますか? ○地雷1個は、いくらだと思いますか? ○地雷のどんなところが怖いのでしょうか? 4、「地雷ではなく花をください」のP、20から、最後まで聞く。	・児童が理解しやすいように世界地図を用意する。 ・地雷で足を失った子の写真を用意し、地雷の恐ろしさを実感できるようにする。
終末	5、授業の感想を聞く	・書く活動を取り入れ、全員が自分の感想を整理できるようにする。

(5) 児童の感想

- ・今日、平和について勉強して地雷をふんで手や足がなくなってしまった人が、とてもかわいそうだと思いました。僕は、日本に生まれて戦争や争いがなくとても平和な国でよかったです。でも、地雷を処理する人にはがんばってほしいです。
- ・今までぼくは、平和について考えてなかったです。それは、今の自分の毎日が平和だからです。世界に地雷が1億1000万個あったのは、すごくびっくりしました。地雷がなくなりこれから世界が平和にくらせるといいと思いました。
- ・私は、今日は道徳の授業で平和や、地雷のことについて勉強しました。特に勉強になったのは、地雷のことです。地雷はふむと爆発するので、こわいなあと思いました。特に子どもの犠牲がたくさんあるので、私は犠牲がないようになってほしいです。
- ・何もしないのに地雷の被害にあってしまうのかわいそうだと思う。地雷をうめた人が地雷をふめば、自分のしたことがよくわかるんじゃないかな。まだ、子どもなのに、理由がけがをさせる事というのは、すごくひどいと思いました。地雷は、子どもの被害が大半というのは、ぼくも気をつけなければいけないと思いました。地雷で手をなくしてしまうなんて夢がなくなってしまう。そんなことのないようにしてほしいです。もっともっと平和なくらしになってほしいです。
- ・1年でこんなにたくさんの人が死んでいるなんて思いませんでした。地雷を作ったり埋めるのはかんたんだけど、地雷を取るのは、とても大変だしお金がとてもかかるので、もう地雷などはうめたりしてほしくないです。そしてまだ取っていない地雷が1億1000万個あることにびっくりしました。うめられている地雷を早く取ってもっと平和になってほしいです。

3. 成果と課題

子どもたちは、絵本「地雷ではなく花をください」を使ったことで、戦争をしている時だけでなく、戦争の終わった後にも大きな影響を及ぼすものであることが理解できた。また、地雷の模型を使ったことで、地雷の恐ろしさや、残酷さをより生々しく実感させることができた。授業後にも地雷の模型をもっと近くで見てみたいという子どもたちの意見が多く、一人ひとりが触って地雷の恐怖を感じていた。今回、この授業を行つたことで、世界の国々に対する視野の幅も広がり、日直が行っている「今週のニュース」の発表でも、世界の紛争問題などの記事を発表したり、日本と比べたりしての感想を述べる子どもたちが増えた。

今後の課題は、子どもたちの視野を広げることはできたが、それを実際の活動にいかに結びつけるかということである。毎年本校で行っているユニセフ募金の際には盛り上がりも見られるが、他の活動に結びつかない現状がある。子どもたちの思いやアイディアをいかに吸い上げ実践をはかっていくかなどについて、総合的な学習の時間を活用したりして検討していきたい。